

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を实践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	F M C グループホーム 4 F
所在地 (県・市町村名)	大阪府寝屋川市本町16-5
記入者名 (管理者)	フロアー長 : 森 正晴
記入日	平成 21年 9月 24日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者の方であっても「人間として、健康で明るく幸せに生きる権利がある」この基本的理念を遵守し、「地域に密着した小集団での生活協同体の生活づくりの中で、幸せ探しを支援する」これが理念となります。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「FMCグループホームの心得・理念」(10ヶ条)を開設時に作成し、毎日の朝礼時に、その日の日勤業務者全員で唱和し、職務者全員が意識して業務に取り組めるようにしています。又、日勤者以外の職員でも、すぐ意識確認が出来る様に玄関及び事務所にて大きく掲示し、閲覧しやすいようにしています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族様には、「FMCグループホームの心得・理念」を玄関と事務所内に大きく掲示し、分かりやすく説明出来る様になっています。又、面会時にも説明させて頂く様にしております。地域の方々との関わりについては、信頼を得てサービス内容を理解してもらえる様に、地域主催イベントや散歩時の挨拶及び交流に積極的に取り組むようにしています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方々との付き合いに関しては、気軽な挨拶の交し合いや、近所の子供達が気軽に遊びに来てくれるなど日常的な交流が来ています。又、玄関前の花壇にベンチを設置しており、近所の方々が気軽に休憩して頂けるような空間づくりにも力を入れています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の各イベント行事がある折には招待され、それらの行事に積極的に参加しています。又、地元自治会長様や、老人会会長様をはじめ、近隣の方々とも挨拶を含めた気軽な会話ができる関係が出来ています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「認知症学習会」、地元中学校の「高齢者の介護体験学習」等の会場として提供する等、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。	○	様々な問題点もあるかとは思いますが、今後は、地元の幼稚園や保育園とも交流を持っていきたいと考えています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価表を各ユニット毎に掲示して、全職員が意義と問題点を認識し、質の高い評価を得られるように日々努めています。又、問題点は、改善出来る様に職員全員で取り組んでいきたいと考えています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を自治会長様、老人会長様、行政職員、地元ボランティアの方、入居者の家族様、入居者様、看護師、ケアマネージャー、職員、施設代表など、計17名で会議を開催し、様々な意見交換をし、家族様、地域住民の方々の意見を主に取り入れ、グループホームとしての介護サービスの向上策として考えています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当官との交流を蜜なものとして、関係所管の指導のもと、質の高い介護サービスの向上策に取り組んでいきたいと考えています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、退所された入居者様の中に成年後見人制度を利用されていた方が折られましたので、当施設の代表が後見人様とのやり取り等は、経験しております。しかしながら、全職員がそれらのやり取りが出来るかという点においては、まだまだであると思います。	○	今後、成年後見人制度を利用される方は、確実に増加していくと思いますので、勉強会・研修等があれば、全職員に積極的に参加する様に呼びかけ、全職員が認識出来るようにしていきたいと考えています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	当施設の入居者様の家族から、「ここに来て良く笑うようになったね」等の言葉を頂く事がよくあります。又、入居者様の表情を見ていただければわかるのですが、本当に穏やかな表情をされています。FMCグループホームでは、虐待は今までも、又、これからも絶対にありません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族様には入所前に十分な説明を書面(重要事項説明書、入居契約書)により、理解していただいています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現在まで、入居者様から直接的にも間接的にも不満や苦情等の意見がありませんので、それらを反映する事はありませんでした。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面接時には家族様とコミュニケーションを持ち、現在の入居者様の状況等を報告し、現金出納と残高の確認をして頂くなど、信頼関係を築いています。又、施設イベント等実施した場合には、写真を定期的に郵送しています。健康面に関しては、受診当日の夜に速やかに電話にて報告しています。その他、特異事項があれば随時、電話報告しています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各ユニット毎に意見箱を設置し、意見・不満・苦情を申告出来る体制をとっていますが、今迄、クレームや介護スタッフに対する意見・苦情などありませんでしたので、それらを反映する事はありませんでした。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、定例会議を実施し、運営に関する意見・提案があれば、報告をし、検討しています。又、職務に関する職員会議も毎月実施しています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者様の要望を第一に対応していますが、家族様からの要望があれば、その折々において、柔軟な対応を行っています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職希望者へは出来る限り説得し、本人の気持ちを尊重した対応をしています。職員のフロアー移動に関しては、施設代表・フロアー長・スタッフで話合うなどして、入居者様のダメージが最小限ですむように配慮した対応をしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修や講義を、希望する職員が会社からの全額負担で受ける事が可能です。又、正社員及び役職者には、スキルアップのための研修に積極的に参加への誘導を行うようにしています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの一部の職員との交流はありますが、ネットワークづくりや勉強会・交流会のような活動は、様々な問題もあり、出来ていないのが現状です。市のケアマネ会等への参加は、当施設のケアマネジャーも積極的な参加をしています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスの大半が疲れから来るものであると認識しています。当施設では、出来る限り、疲れが溜まらない様に、勤務日数や希望休にも配慮しています。又、職員同士の交流を深め、人間関係からのストレスを無くすための取り組みとして、定期的な親睦会等も検討しています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員に向上心を持って働いてもらうため、各職員に役割を与えるような取り組みをしていますが、資質的な問題もある為、フォローアップの体制を実施しています。又、各自が目標を持って働けるよう、月に一度の職員会議で意見交換を行っています。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人とコミュニケーションを取る事で、趣味や今迄生きて来られたルーツを聞き出すように努めています。又、ご家族からも情報を頂く機会を設け、信頼関係を築いていく様に努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からの情報を、しっかりと受け止める姿勢から信頼関係が生まれると思います。我々介護職員は情報が少なければ少ない程、職務のマイナスになる為、より多くの情報を収集出来るように努力しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・家族様が何を求めておられるか。を知る事が、介護の第一歩だと思います。その求めておられる事を主とした支援を実行するようにしています。又、要望があれば、当施設と連携している整骨院の利用サービスも実施しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人が安心して入所して頂く為に、まず、見学、次に昼食体験、次に体験入居をして、当施設に馴染んで頂き、双方納得の上で入居契約をするようにしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様本位の介護を実践していますが、認知症の程度によっては、すべて全介助の方もおられます。入居者様と介護職員が日常生活の中で喜楽を共有するようにしています。しかし、現実問題として、怒と哀との共有は、なかなか難しいところであると思います。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	施設内イベントや郊外行事にも出来る限り参加をして頂いたりして、ご本人との関係を深めて頂く機会を多く設けています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族様面会時に、一緒に散歩に参加して頂いたり、入居者様と家族様での夕食の機会を設けて頂いたり、家族様と入居者様との関係がより蜜になる様に支援をしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人に関して言えば、出来る限りの支援を実施出来ていますが、場所に関して言えば、今の状況と差異がありすぎ関係保持が難しい状況にあります。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士のトラブル等が無いように職員が間に入り、出来る限りの支援を実践しています。が、生活環境や生き方等の違いから、うまくかみ合わない方もいらっしゃいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	以前に契約終了された家族様が、入居者様に会いに来て下さったり、暑中見舞・年賀状なども届いています。又、退所された入居者様ご本人からも職員に電話があったりもしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症の程度により、個々の思いや要望を ご本人から入手するのが困難な方もおられますが、ケアをしている際にちょっとした仕草や表情から、要望等を知る事もあります。	○	入居者様の表情や仕草の観察を重視して、ご本人の希望や要望等を知り得るよう、観察内容等を記録又は、申し送りにて情報交換などで認識出来るように努めています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時に、家族様からヒヤリングしたり、入居前に担当しておられた居宅介護支援事業所の担当員の方々など、多くの方からの情報収集に努めています。又、その方々の生活歴を尊重して、それらの把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様の個々の状況に応じた介護支援を実践しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族様の意見を中心に、様々な情報収集をし、それにご本人の心身状態を加味した上で、入居者様や家族様を交えて介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、定期的にモニタリングを行い、家族様と相談しつつ介護計画の見直しをしています。又、退院時やADLに変化が見られる場合等は、随時、家族様に相談しサービス内容の見直しを行う様に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	随時、介護記録に記入し、全職員が把握して、情報の共有化に努め、介護計画の見直しに役立っています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様が身体機能低下になり、「グループホーム」の域を越えても、終末介護の受け入れをしています。FMCグループホームは、グループホームの域を超えた介護医療設備を整えております。又、リハビリにも力を入れており、1Fには整骨院を、2Fにはスポーツジムを併設しています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月、たくさんのボランティア(歌体操・傾聴・音楽療法・書道など)が来所され、楽器演奏や書道などを実践しています。又、公共施設の利用もさせて頂き、更には、毎年、消防機関に協力頂き避難訓練等も実施しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、FMCグループホームの入居者様が他の施設等でサービスを利用した事はありません。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとの協働は、今迄ありませんが、地域包括センター主催の会議には、当施設代表及びケアマネージャーが積極的な参加に努めています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	二週間に一度の訪問医療、週に一度の訪問歯科又、当施設専属の看護師が健康状態をチェックする等、いつでも相談できる体制が確保され、24時間医療連携体制が整っています。又、病状や健康状態も医師を交えて、ご家族に説明・報告をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>ホームとしての体制は整っていますが、全職員が看取りを出来るかという点、不安があるのが現状です。今後の事も含め、勉強会等を実施し、全職員が「看取り介護とは」を把握して落ち着いた対応が出来るように取り組んでいきたいと思っております。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様への声かけ等に関しては、会社の理念にもあるように、「尊敬の意」を持って接するように徹底しています。個人情報に関しては、全職員が「守秘義務に関する宣誓書」に自書・捺印をしています。又、職員間においても各自十分な配慮が来ています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様個々の思いや、その人らしさを「表出」できるように支援をしていますが、認知症の程度により100%そうした支援が出来るかと言うと現実的に難しい所がありますが、出来る限りの支援を実践していきます。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様が穏やかに過ごせるように、入居者様を第一に考えた支援を実践しています。又、そういった入居者様主役の介護を徹底して教育されています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの美容院や理髪店にも定期的に行ける様に支援していますし、涎などを流される入居者様にはバンダナを首に捲いて頂くなどをして入居者様におしゃれやをして頂きながら洋服が汚れないようになどの工夫をしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ADLの程度にもよる為、日々の食事作りをして頂くなど調理業務はありませんが、お茶碗を布巾で拭いたり、後片付けなど出来る事に関しては協働して頂いております。又、おやつ作りをする時は、生地を混ぜたりフルーツのトッピング等をして頂いたり、入居者様と楽しみながら作る事も行ったりしています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、飲酒・喫煙の入居者様はおられません。おやつ、飲み物に関しては、出来る限りですが、ご本人の要望があれば、要望通りのものをお出ししています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者様、個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を心がけています。万が一失禁されている場合は、不快感が無いように可及的速やかに清拭等に努めています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者様の清潔を第一に考えて、週2～3回の入浴を実施しています。もちろん入居者様の意見や希望等を確認しながら支援するようにしています。そのために無理強いには、しておりません。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間、安眠できるように就寝環境には気配りをしています。(室温や興奮しないような声かけ等) 又、昼夜逆転予防策として日中帯での活動を増やす等の配慮もしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	四季行事・誕生日会・散歩等を行っています。その他、行事以外でもおやつ作りを一緒にしたり、歌の好きな方と一緒に歌を歌ったりと、個々の楽しみに合った支援を行うようにしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理に関しては、金銭出納帳を作り、職員が管理しています。買物や理容室に行かれる場合に現金を入居者様に渡して、自身で精算していただく場合もありますが、家族様の意向も関係しており、その殆どが職員が金銭管理をするようにしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来る限り、散歩等に出かけ、外の空気を吸っていただけするようにしています。又、ドライブを兼ねた買物等にも一緒に行ったりするようにしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に4回の遠出の機会を設ける様にしています。その際、家族様の事情にもよりますが、参加できる家族様には、参加して頂き、入居者様との関係が蜜になる様に支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実際に入居者様から家族様に電話をされておられる入居者様もいらっしゃいますが、家族様、ご本人の要望や認知症の程度により、それが出来ない入居者様もいらっしゃいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様やご友人の方の面会等は、自由に出来る様な雰囲気作りが来ています。又、その方々に応じた居心地の良さを提供できるように努めています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当施設において、身体拘束をしないケアを徹底しています。又、職員の入替え等があっても、その考えに相違が無いように先輩職員から新人職員さんへの情報伝授を徹底しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室と各フロアーについては常時開錠していますが、玄関とエレベーターに関しては、事故防止の為に施錠しています。鍵をかけないケアは充分理解していますが、当施設のような形態(外部の侵入者を防ぐ為)の場合には、鍵をかけないケアは無理があるのではと思います。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全職員が昼夜を通して、それらの事を十分に配慮して安全第一の介護支援を実践しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	それらの物品を一律に無くすような事は当施設ではありません。危険予防も兼ねて、職員が管理するようにしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	そういった事故防止に関しては、月に一度の職員会議や「ひやり・はっと報告書」を書いてもらい事故の無いように努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	常勤・非常勤に関係なく、介護職員全員が対応出来るように緊急時マニュアルを各フロアに掲示したり、勉強会を開いたりしています。が、実際問題そういった緊急時の経験が少ない職員もいるため全職員がスムーズな対応が出来るような訓練を継続していきます。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対策として、災害時マニュアルを作成し、各フロアに掲示しています。又、年に一度消防署と連携して消防訓練を行っています。が、地域で訓練をしていることは皆無ですので、今後はそれについても関係者と検討をしていきたいと思います。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクに関して言えば、入居契約時に家族様に十分に説明し、理解して頂いています。又、ADL低下が顕著な方に関しては、今後の予測を見据えた説明を行っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常的に血圧・検温・オキシメーター等の計測を実施し、病気に関する防止及び早期発見に努めています。又、そういった異変が発生した場合には、その症状等の情報を全職員はもちろんの事、医師、看護師にも速やかに報告し対応するようにしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は看護師が行っていますが、服薬実施や支援等は介護職員が確実に行っています。症状等の変化や結果は、状況を確認した後、看護師が行っています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘症の方には、水分を多く摂取して頂いたり、バナナ・ヨーグルトなどを食して頂いたりしています。それでも改善されない場合は、看護師に相談し下剤薬の服用や浣腸等の対応をしています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	日常的には介護スタッフが口腔ケアの誘導をしています。又、週に一度(毎週金曜日の午後)歯科往診に来ていただき、歯科衛生士の方に依頼し口腔内の清潔に対するの指示を頂き、それらを実行しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては、管理栄養士が献立を考案し作成しています。食事摂取量や水分摂取量に関して、毎日記録して摂取量の少ない方には牛乳やスポーツ飲料やエンシュア等の飲料を勧めるなどして対応をしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の予防の勉強会や研修には積極的に参加するようにしています。又、外部からの面会者にも入室の際には、アルコール消毒をして頂く等の対応をとり、感染症予防に努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の毎夜間消毒を行うなど徹底しています。野菜類の調理前の洗浄や肉類・魚類の火の通りなど、安全な調理にも気を配っています。又、食材業者にも新鮮で安全な食材を入れるように徹底して申し入れをしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前の花壇にベンチとジュースの自販機を設置しています。これにより、近隣の方が誰でも気軽に休憩していただける雰囲気になるように工夫しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全館に有線放送機器を設置し、入居者様が気分良く過ごせる音楽をチョイスし流すようにしています。又、フローア装飾には、フローア内でも季節感を感じて頂く為に、四季の移り変わりが実感できるような飾り付けをする工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各フロア(リビング)に、大型のプラズマTVやソファ等を設置して、入居者様がそれぞれ思い思いにくつろげる空間を確保しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の居室には、出来る限り、今までの暮らしのままであっていただきたいとの思いがあり、使い慣れた家具を持ち込んでいただき、入居者様が居心地良く暮らしていけるように配慮しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室にオゾン発生装置を設置して、いやな臭いの防止に努めています。又、各居室毎にコントロールの出来るエアコンや換気扇を設置し、快適に暮らせるように配慮しています。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体を高齢者の方の為の施設になるように十分に配慮し工夫しています。手すり等の配置が充分で、便座の上下を電動で行い、立ち座り動作時の補助を行う介護職員が楽に出来る工夫など、細部にわたって工夫がなされています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には入居者様の名前を表記し、トイレ等にも目印をつけるなど、入居者様が混乱せず活用できるように配慮はしていますが、入居者様の程度により、それらを認識出来ない方もいらっしゃいます。そういった方々への工夫も今後様々な試みをしていきます。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダは、基本的には洗濯物干し場にしてはいますが、いろいろな活用法があり、プランターを使って菜園にしている方や、ベランダを歩行訓練に活用している方など個々の活動を妨げないように配慮しています。		

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様のADLを悪化させないためにも外部との接触を図ったり、ボランティアの方々に来所して頂いたり、人と人とのコミュニケーションを大事にした介護支援を実践して行きたいと考えています。毎日は無理でも出来る限り外出（散歩・買い物・ドライブなど）をしたり、近隣で行われる行事やイベントには積極的に参加をさせて頂き、入居者様に沢山の思い出を作って頂けるような・・・そのような介護支援を・・・私たちはさせていただきます。